

出産・子育てに関するアンケート調査の結果について

1 目的

葛飾区の乳幼児人口は年々減少傾向にあり、特に令和3年4月1日は前年度に比べ1,012人、令和4年4月1日も前年度に比べ682人と、大きく減少している。新型コロナウイルス感染症拡大後に急速に進行したこの少子化の状況について、本区の現状分析をするための調査を行い、その結果がとりまとまったため報告するもの

2 調査結果概要

(1) 対象者

葛飾区在住で、現在子育て中の世帯又はこれから子育てをする可能性のある世帯の世帯主の方（配付数3,000通、有効回答数1,381通、有効回答率46.0%）

(2) 調査期間及び調査方法

令和4年6月28日から令和4年7月20日まで
対象者に通知を郵送し、インターネットにより回答

(3) 調査票

別紙のとおり

(4) 調査結果報告書

別添のとおり

(5) 調査結果分析

「子どもを持ちたいが事情により産むのを控えている」「子どもを持ちたくない・今は考えていない（わからない）」ともに、回答者の6割以上が「経済的な不安」がその理由であった。また、3割以上は「出産・子育てへの不安」も理由としている。

「少子化に対応するために、区はどんなサービスが必要か」という設問に対しては、給付金など何らかの金銭補助のほか、出産費用補助、教育費の支援・無償化、児童手当の増額・期間延長など、経済面に関する意見が多く、前述の子どもを持たない理由の「経済的な不安」とも合致する結果となっている。

<調査結果抜粋>

ア 「今後、子どもを持ちたいと考えている」…49.1%

うち、「事情により産むのを控えている」…20.1%

産むのを控えている事情（複数回答可）

- ・ 経済的な不安（69.9%）
出産・育児・進学費用、給与、税金、円安・物価高騰など
- ・ 出産・子育てへの不安（40.4%）
親族が近くにいない、育児と仕事の両立、母体への負担、ワンオペ育児など
- ・ 今後の仕事（キャリア）への不安（31.6%）
育児と仕事の両立、職場復帰、収入減、産休・育休（体調、キャリア）など

イ 「子どもを持ちたくない」…23.6%

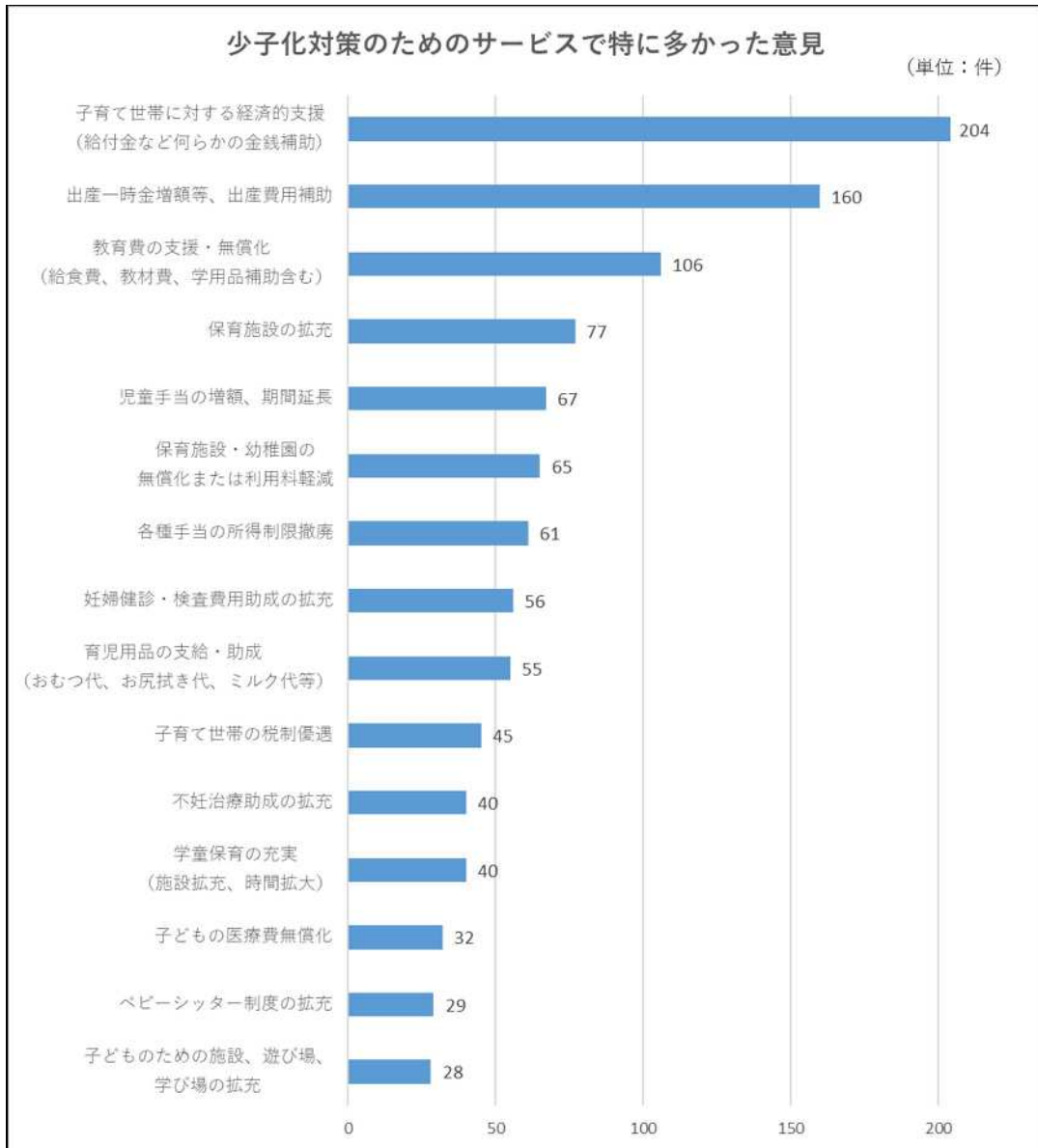
「今は考えていない（わからない）」…27.2%

その理由（複数回答可）

- ・ 経済的な不安（62.1%）
- ・ すでに理想の人数の子どもがいる（41.5%）
- ・ 出産・子育てへの不安がある（35.1%）
- ・ 体力的に余裕がない（34.2%）

ウ 「少子化に対応するために、区はどんなサービスが必要か」（自由記述）

分類回答	件数
1. 結婚・妊娠・出産について	387
2. 子どもの医療について	44
3. 経済的支援について	460
4. 子育て支援サービスについて	295
5. 教育・保育について	456
6. 子育て環境について	126
7. 仕事と子育てについて	64
8. その他	73
合計	1,905



3 今後の事業展開

調査を経て、「事情により産むのを控えている」あるいは「子どもを持ちたくない・今は考えていない(わからない)」と考える理由として、経済的な不安や出産・子育てへの不安が大きいことがわかった。

子育て世帯への支援は第二期葛飾区子ども・子育て支援事業計画等で計画的に実施しているところではあるが、上記2つの不安に今後対応していくためにはまず、区の子育て支援サービスをより広く周知するとともに、漠然とした経済的不安を解消し、区全体が出産・子育てに対し前向きであるという機運を醸成する必要があると考える。

そのため、以下の事業を実施していくとともに、調査結果をさらに分析

し、他自治体の事例も参考にしながら、国の子育て世帯への支援策の動向も注視しつつ、関連する部署と協議・調整のうえ、新たな支援策を検討していく。

(1) 安心環境の周知

ア 広報かつしか連載記事

区が実施する出産・子育てに関する支援策について、「7つの安心」というテーマで全7回にわたって連載記事で紹介。現在連載中で、3月25日号まで毎月掲載予定

イ YouTubeによる動画配信

葛飾で子育てすることの「7つの安心」や、「かつしかみらいF P相談窓口」などの子育てに関する新たな取組を動画で配信

ウ 葛飾での子育てをより良くするための小冊子作成

葛飾で子育てをすることの良さや、地域も子育てを応援しているという風土があることを知ってもらうための小冊子を作成。A5版、カラー、22ページ程度を予定

(2) 不安解消のための具体的支援

「かつしかみらいF P相談窓口」の開設

結婚・出産にまつわる経済的不安を解消するために、ファイナンシャルプランナーによる無料の相談窓口を開設

開設年月日：令和5年1月下旬（予定）

実施場所：区役所4階子育て支援窓口

実施日時：毎月最終水曜日、午後2時から午後7時まで
(原則予約制。相談1回あたり1時間程度)

調 査 票

設問5 子どもを持つことについて、持ちたくない・今は考えていない（わからない）
という方へお伺いします。なぜ、そう考えますか。【複数回答可】 →設問7へ

1. 他に優先すべきこと（仕事・趣味など）がある
2. 住まいへの不安がある
3. 経済的な不安がある
4. 出産・子育てへの不安がある
5. 社会情勢に対して不安がある
6. 現在の生活に満足している
7. すでに理想の人数の子どもがいる
8. 体力的に余裕がない
9. その他（可能であれば、具体的に教えてください）

【 】

設問6 区で実施している事業に関わらず、今後、利用してみたいサポート・サービスは
ありますか。具体的に教えてください。【複数回答可】

1. 妊娠までのサポート・サービス
2. 妊娠・出産に関するサポート・サービス
3. 乳児親子向けのサポート・サービス
4. 幼児親子向けのサポート・サービス
5. その他

【 】

【 】

【 】

【 】

【 】

設問7 全国的な課題となっている少子化に対応するためには、区としてどんなサービスが
必要であると思いますか。

記述

アンケートは以上となります。
貴重なご意見をありがとうございました。